

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・第69回厚真町成人式
- ・スケート教室開催
- ・スピードスケート記録会
- ・スケートリンク利用案内
- ・12月定例教育委員会報告
- ・北の縄文パネル展のお知らせ
- ・成人式フォトギャラリー
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

新成人の誓い、故郷に響く

第69回
厚真町成人式

第69回厚真町成人式が、1月8日に総合福祉センターで開催されました。今年は平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方50人が対象で、37人が出席し、社会人としての第一歩を歩み出しました。

式辞では、遠藤秀明教育長が「ふるさと厚真に生まれた縁を大切に、多くの人をひきつける魅力のある社会人になれるよう自身を磨き続けてください。」と激励しました。

このあと、誓いのことばを小寺聖夏さん(表町)、交通安全宣言を工藤翔太さん(鯉沼)が行い、気持ちを新たにしていました。また、厚真町からの記念品を保田英子さん(鹿沼)が宮坂尚市朗町長から手渡されました。

式典のしめくりに、新成人を代表して尾形紘平さん(本郷)による答辞が行われ、会場から大きな拍手が送られました。

式典終了後のアトラクションでは、新成人の保護者が複数加入する合唱サークル「ポラリス」による合唱が行われ、会場は温かい空気に包まれました。

出席した新成人たちは、お祝いに駆け付けた厚真町イメージキャラクターのあつまると記念写真を撮ったり、友人たちとの旧交を温めたりと、人生の節目を互いにお祝いし合っていました。



(成人式の様子については、中面でもご紹介していますのでご覧ください。)

出前講座

スケート教室開催

1月10日から13日にかけて、小学生対象のスケート教室が町民スケートリンクを会場に開催され、総勢93人の児童が参加しました。

この教室は、2月に開催される「スケート記録会」に向けて、足の蹴り方や、手の振り方などの基本練習を中心に行いました。

寒空の下、児童は講師の先生に教わりながら、元気いっぱいに練習に励んでいました。

小中学校
スピードスケート記録会

次のとおり「第37回小中学校スピードスケート記録会」を開催します。

参加する児童生徒への大きな声援をお願いします。

- ◆日時 2月4日【土】
開会式 午前9時00分
競技開始 午前9時30分
- ◆ところ 町民スケートリンク(新町)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
Tel27-2495

スケートリンク
ご利用ください

町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。

皆様のご利用をお待ちしています。

- ◆利用期間 2月28日【火】まで
- ◆利用時間 午前9時から午後8時まで
(天候や気温等により変更あり)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
Tel27-3775(スポーツセンター)

北の縄文パネル展

現在、北海道や関係市町村が世界遺産登録を目指して進めている「北海道・北東北の縄文遺跡群」のうち、北海道の主な遺跡、厚真町の縄文遺跡や富良野との交流を示す“キラキラ土器の道”についてのパネル展を開催いたします。

また、期間中には黒曜石のカケラを記念品とした学芸員による説明会も行います。



期 間 2月15～21日 午前9時～午後5時
(夜間開館の日もあります)

場 所 総合福祉センター1階 ホール

説明会 2月19日(日) 午前10時～午後2時
当日は、黒曜石をもらえなくプレゼント!

主 催 北海道胆振総合振興局生活環境課

12月定例教育委員会

12月7日に開催された臨時教育委員会及び12月27日に開催された定例教育委員会の主な会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

厚真町教育支援委員会、平成28年度厚真町児童・生徒体力運動能力調査結果(速報)、第25回ミニバレーボールウィンターリーグ、爆笑師走あつま寄席など(7件)

◆議案

厚真町教育委員会教育長の職務代理の指名について(1件)

◆協議事項

平成28年度全国学力学習状況調査結果の概要について、学校給食費の改訂のあり方についてなど(4件)

◆その他

総合教育会議の開催について(1件)

★問合せ

教育委員会 学校教育グループ TEL27-2494

厚真町育英資金貸付についてのお知らせ

厚真町在住の方の子弟で、大学等に進学された方について、学資金の貸付を行っています。
平成29年度の厚真町育英資金新規貸付は、4月から受付を開始いたします。

●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院(防衛大学校等は除く)
- (2) 高等専門学校(第4・5学年)
- (3) 専修学校専門課程(修業年限が2年以上に限る)
- (4) 国外において、(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)に該当する学校の新規入学者が在籍学生で、保護者が厚真町在住の方。

●貸付月額 月額6万円を限度とした希望額

●貸付方法 希望する金融機関の貸付(保護者等)の口座に毎月振り込みます。

※初回のみ4～7月分を7月中旬に振り込みます。

●利 息 無利子

●返済方法 卒業後、6カ月据え置きで、借りた期間の3倍の期間で口座振替等により返済していただきます。

●選考基準 町育英資金選考基準に基づき、成績、学習意欲、家庭の所得等を考慮し貸付者を決定します。

●提出書類

①申請書 (教育委員会にあります)

②在学証明書

③成績証明書(最後に在学していた学校の証明書)

④健康診断書(入学後、学校で受けた結果の写し)

⑤課税資料閲覧承諾書(教育委員会にあります)

●申し込み・問い合わせ

教育委員会学校教育グループ TEL27-2494



誓いの言葉 小寺聖夏さん(表町)



交通安全宣言 工藤翔太さん(鯉沼)



記念品授与 保田英子さん(鹿沼)



答 辞 尾形紘平さん(本郷)

成人おめでとう！



図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

2016年 厚真町で一番読まれた本は？

(2016年1月5日から2016年12月30日の貸出回数)

《一般書》

	回数	書名	著者	
1位	19回	羊と鋼の森	宮下 奈都	本屋大賞受賞
2位	12回	霧(ウラル)	桜木 紫乃	
		海の見える理髪店	荻原 浩	直木賞受賞
		ポイズンドーター・ホーリーマザー	湊 かなえ	
3位	11回	君の臓腑をたべたい	住野 よる	
		人魚の眠る家	東野 圭吾	
		坂の途中の家	角田 光代	

東野圭吾さんや桜木紫乃さんのような人気作家の本は、新刊が出るとすぐに貸出されるのですが、住野よるさん著「君の臓腑をたべたい」は2015年8月に受け入れしたもので、新しい本ではありません。2016年になって貸出回数が伸びました。今書架に並んでいる本の中にも、これから人気が出る本があるかもしれません。

《絵本》

	かいすう	しょめい	さくしゃ
1位	19回	イチゴパフェエレベーター	石崎なおこ
2位	16回	おしりたんてい おおどろぼうあらわる	トロール
		あんみつひめさま	さとうめぐみ
3位	15回	おしりたんてい	トロール
		ぱんのようにえんえんそくにいく	さとうめぐみ

絵本は新しく出版されたものよりも、おなじみの作品が貸出回数をのばしました。返却はしたけれど、やっぱり借りたいという方が多いようです。繰り返し読みたくなる作品に出会えることはとても素敵なことです。で、何回でも借りてくださいね。(予約が入っていたときは、予約した人にゆずってあげてくださいね)

青少年センターからの お知らせ

～夜間プラネタリウム投影会～

冬の星座を探そう

と き 2月24日(金) 午後6時30分

※晴天の場合は引き続き天文台で観望会を開催。

火星・星雲などを観察できます。

と ころ 青少年センター2階プラネタリウム室・天文台

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は

保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

問合せ 教育委員会社会教育グループ TEL 27-2495





新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

一般書

『リーチ先生』

原田 マハ/著



作者の原田マハさんは美術のキュレーターとして勤務されていたので、美術関連の小説を多く手がけられています。この小説でも、イギリス人陶芸家リーチの半生を描いています。

- ・帰郷 浅田 次郎/著
- ・静かな雨 宮下 奈都/著
- ・草花たちの静かな誓い 宮本 輝/著
- ・社長室の冬 堂場 瞬一/著

児童書

『カレー男がやってきた』

赤羽 じゅんこ/作



このお話は、カレーが大ブームになった町のお話です。同じように作ってもそれぞれの家で味が変わるカレーライス。このお話をよんでいると、どこからともなくカレーのにおいがしてきます。

- ・湿地生物のサバイバル 洪 在徹/文
- ・動物と話せる少女リリアーネ
赤ちゃんパンダのママをさがして
- ・車夫2 いとう いく/作

実用書

『ときめく縄文図鑑』

譽田 (コンダ) 亜紀子/著



とうとう土偶や土器にときめきました。土の中から掘り起こされた土器や装身具がどのような意図をもって作られたのか、埋葬されたのかを見やすい写真とわかりやすい文章で紹介します。

- ・トランプ大統領の衝撃 冷泉 彰彦/編
- ・ありがたい植物 田中 修/著
- ・50歳からはじめる俳句・川柳・短歌の教科書
坊城 俊樹/監修

絵本

『なつみはなんにでもなれる』

ヨシタケシンスケ/作



洗濯物をたたんでいるお母さんのそばになつみちゃんがやってきます。今からものまねするからあててね。みんなもなつみちゃんのように、いろいろなものになってみよう。

- ・おしりたんてい プブッおしりたんていがふたりいる!? トロル/作
- ・あるひいつものがくどうで サトシン/作
- ・オニじゃないよおにぎりだよ
シゲタサヤカ/作



～図書室からのお知らせ～



■ 2月の休館日

11日 建国記念の日

■ 青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)

■ 厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

■ 2月の移動図書

・上厚真小学校

午前10時10分～25分

3、10、17、24日【金】

・ともいき荘

15日【水】 午後2時00分～2時30分

■ 絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子

場所：青少年センター 2階ロビー

23日【木】 午前10時30分～11時

☆放課後子ども教室☆

新しい1年が始まりました。楽しかった冬休みも終わり、子どもたちにとっては今の学年を締めくくる仕上げの3学期。そして、6年生にとっては小学校生活の集大成です。事故や大きなけががなく、全力で遊び尽くせる環境づくりを今学期も目指したいと思います。

冬休み期間中は通常の放課後子ども教室はお休みでしたが、昨年12月23日（金・祝）に冬休み特別教室『冬の森あそび&ものづくりデイキャンプ～アウトドアクッキングとスノードームづくり～』を開催しました。特別教室は、中央小・上厚真小両校合同で、学年も1年生から6年生までが対象となっています。今回も28人の子どもたちが参加。冬休みの特別教室では恒例となっている町有林での森遊びと、モノづくりプログラムを行いました。

午前中は豊沢地区にある町有林・環境保全林での森遊びに出かけました。荷物を下ろすと、子どもたちはさっそく自分のやりたい遊びができる場所を目指して動き始めます。枯損木や枯れ葉のついた枝を集めての秘密基地づくり。動物の足跡をたどって進む森の探検。巨大なヤマブドウのツルでターザンごっこ。今年は昨年比べて雪も多く、雪だるまづくりや雪合戦などの雪遊びも楽しむことができました。お昼ごはん用に準備した薪ストーブ前で、スープやおやつのお餅を焼くのを手伝ってくれる子もいました。例年、お昼ごはんは青少年センターに戻ってとっていましたが、今年は牛乳パックを使ったホットドック（カートンドック）を現地で作くり、お昼ごはんも外で過ごすことに挑戦しました。温かいスープとホットドックで子どもたちの体を温めます。お昼ごはんが終わった子は、再び遊びの世界に戻っていき、時間いっぱいまで森遊びを楽しみました。

午後からは青少年センターの2階ホールでモノづくりプログラムです。今年は冬の飾り物の定番であるスノードームを作りました。食料保存用の小さなガラス瓶のフタに飾り物やビーズなどを接着剤で固定します。水と洗濯ノリが入った瓶の中に、キラキラしたスパンコールなどと一緒に入れて、飾り物がついたフタをぎゅっと閉めれば出来上がり。瓶を逆さまにして戻すと、中に入れたキラキラたちが雪のように舞ってとてもきれいです。世界にひとつだけのステキなスノードームができあがりしました。

地域の資源を、地域の子どもたちが享受できる環境があることは、本当に大切なことだと感じています。厚真に暮らしていても、実際に近くの自然の中で遊べる機会はそう多くはありません。こうした自分のまちの資源を体感できる場を、これからも大切にしていきたいと思います。

